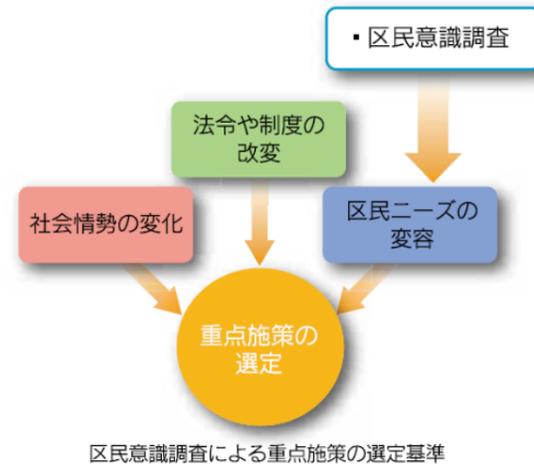


区民意識調査結果と重点施策の比較結果

1 重点施策の選定にあたって

- 重点施策は、区民意識調査等における地域環境の満足度や今後の優先度等を踏まえるとともに、社会情勢や改革の必要性なども含め総合的な観点から選定する。
- 重点施策は、各政策から1つ選定する。ただし、政策に対する施策が1つの場合は、重点施策としての設定は行わない。



「最近の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、10の分野ごとに評価、分析を行った。

「最近の評価」の軸 (+) (-)	<p>C</p> <p>最近の評価は高いが、今後の優先度は低い</p> <p>○最近の評価 (+) プラス ▲各項目の優先度 (<) 平均優先度</p>	<p>A</p> <p>最近の評価も、今後の優先度も高い</p> <p>○最近の評価 (+) プラス ○各項目の優先度 (>) 平均優先度</p>
	<p>D</p> <p>最近の評価も、今後の優先度も低い</p> <p>▲最近の評価 (-) マイナス ▲各項目の優先度 (<) 平均優先度</p>	<p>B</p> <p>最近の評価は低いが、今後の優先度は高い</p> <p>▲最近の評価 (-) マイナス ○各項目の優先度 (>) 平均優先度</p>
	(-)	(+)

「今後の優先度」の軸

上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「最近の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

B	評価 低 かつ 優先度 高	行政として重点的に取り組む
A	評価 高 かつ 優先度 高	現状維持
D	評価 低 かつ 優先度 低	
C	評価 高 かつ 優先度 低	行政の役割は小さい

【区民意識調査結果を活用した重点施策の見直し】

「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の結果を、現行計画で選定されている「重点施策」と比較し、下記の5つのパターンに分類したうえで、③、④に該当した施策を中心に見直しに活用する。

◆比較パターン

①重点施策と区民ニーズがマッチ

(1つしかない領域B、または複数ある領域Bのなかの最も右下が重点施策)

②重点施策と区民ニーズが概ねマッチ (複数ある領域Bのなかの1つが重点施策)

③以前も現在も重点施策と区民ニーズがズレている

④次第にズレてきている

⑤区民ニーズに明確な差は見られない

(領域Bがなく、かつ領域がみな同じまたは領域がAとDのみなど、選定への活用が難しい)

2 区民意識調査結果の分析と活用

【分析に用いた区民意識調査】

- 協働のまちづくりに関する区民意識調査 (平成25年度実施)
- 協働のまちづくりに関する区民意識調査 (平成22年度実施)
- 豊島区基本計画策定のための区民意識調査 (平成26年度実施)

【調査結果の分析】

10の分野ごとに、「最近の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。

【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■最近の評価 (目指すべき生活環境の姿に近い)

各項目の加重平均値

= (「どちらかというと思う」の回答者数 × 1点 + 「どちらともいえない」の回答者数 × 0点 +

「どちらかというと思わない」の回答者数 × -1点) ÷ 回答者数

■今後の優先度

各項目の回答割合 (%)

■基準軸の設定

○最近の評価 = 0 (ゼロ) を基準

○今後の優先度 = グループごとの各項目の平均優先度を基準

①参加・協働

政策	施策 (網掛けが重点施策)	平成 25 (2013) 調査			平成 22 (2010) 調査			比較分析	平成 26 (2014) 調査			備考		
		設 問	評価	優先度	領域	評価	優先度		領域	評価	優先度		領域	
1-1	参加と協働の基盤づくり	政策全体の平均優先度等⇒			0.00	18.4		0.00	21.8		0.00	24.9		
	①地域活動の活性化と連携の促進	27	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている	0.13	20.9	A	-0.07	24.7	B	重点施策とニーズ がマッチしている	0.12	28.1	A	
	②協働の仕組みづくり	28	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	-0.08	23.0	B	-0.21	23.4	B		-0.09	28.3	B	
	③地域住民相互の交流の促進	29	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	-0.20	33.8	B	-0.22	38.6	B		-0.20	39.9	B	
1-2	地域力の再生													
	①地域を担う人材・団体の育成	30	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	-0.12	14.7	D	-0.13	25.9	B	ニーズに明確な差 は見られない	-0.13	22.8	D	
	②地域の課題解決力の向上	31	地域の課題に対する関心が高まっている	-0.26	17.6	D					-0.28	25.2	B	
4-1	多文化共生の推進													
	① 多文化共生の推進	32	地域で外国人との交流がある	-0.52	10.1	D	-0.53	10.0	D		-0.50	15.9	D	
4-2	平和と人権の尊重													
	① 平和と人権の尊重	33	地域社会において平和と人権が尊重されている	-0.02	17.7	D	-0.04	19.5	D		-0.06	22.6	D	
4-3	男女共同参画社会の実現													
	① 男女共同参画社会の条件整備	34	男女が共同で社会に参画できる	0.03	9.3	C	0.03	10.3	C		-0.01	16.4	D	

区民意識調査における総合分析の経年比較

【平成 22 年度⇒25 年度調査】

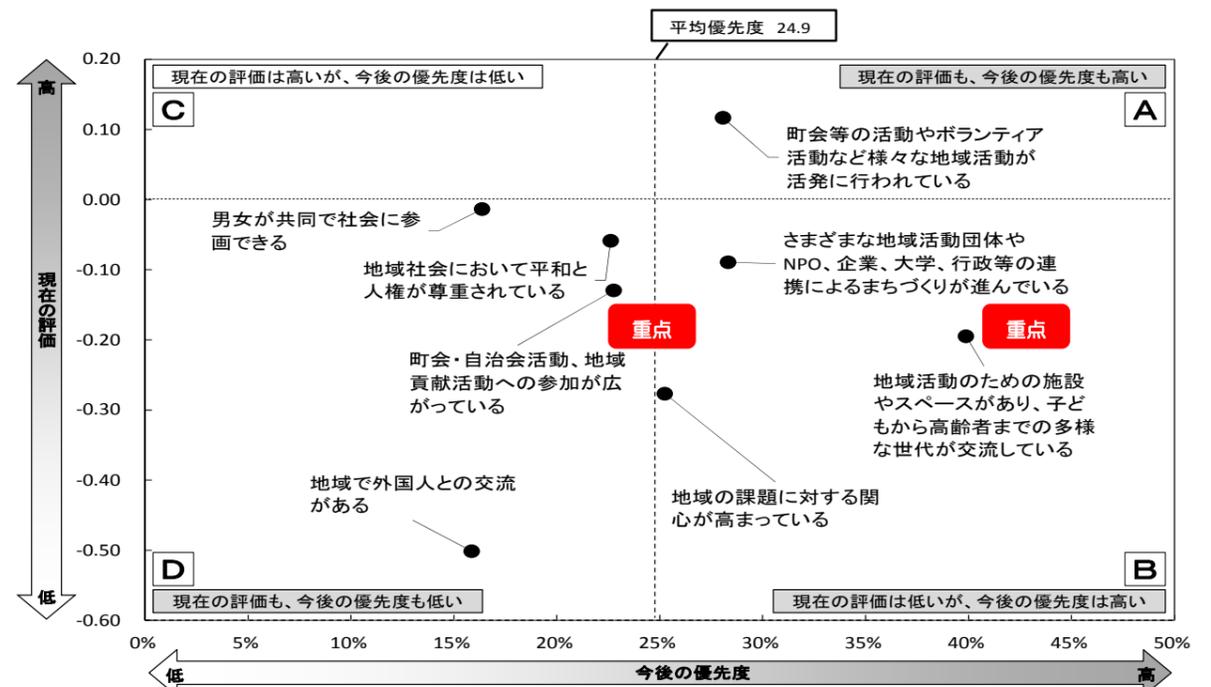
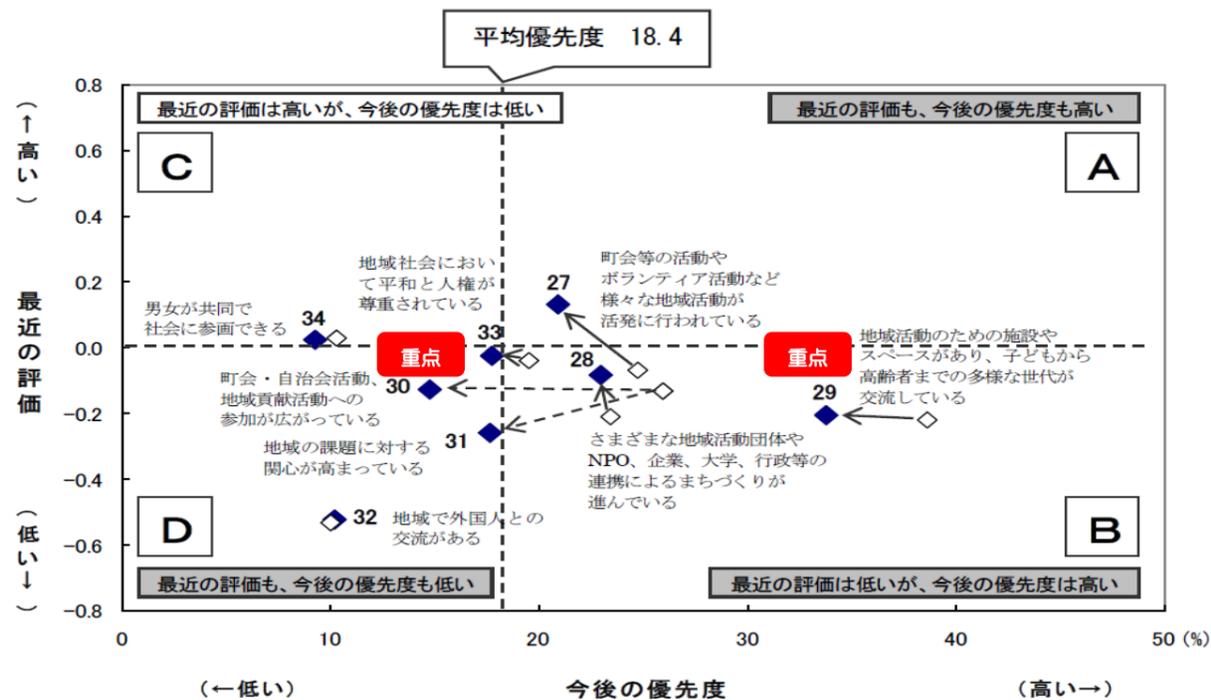
総合分析を前回調査と比較した。◆印が25年度調査、◇印が22年度調査、22年度から25年度への推移を矢印で表している（以下同様）。

【平成 26 年度調査】

●印が26年度調査。26年度調査は25年度調査を補完する意図で実施したため、「評価」欄は「現在の評価」で質問しており、25年度調査等における「2、3年と比べた最近の評価」とは異なる。但し「優先度」は同じ質問。

No.27が領域Bから領域Aへ、No.30、31が領域Bから領域Dへ移動した。ただし、No.30とNo.31は22年度には1つの質問だったものを分離したことによる影響と推察される。

平成25年度調査結果と大きな相違は見られない。



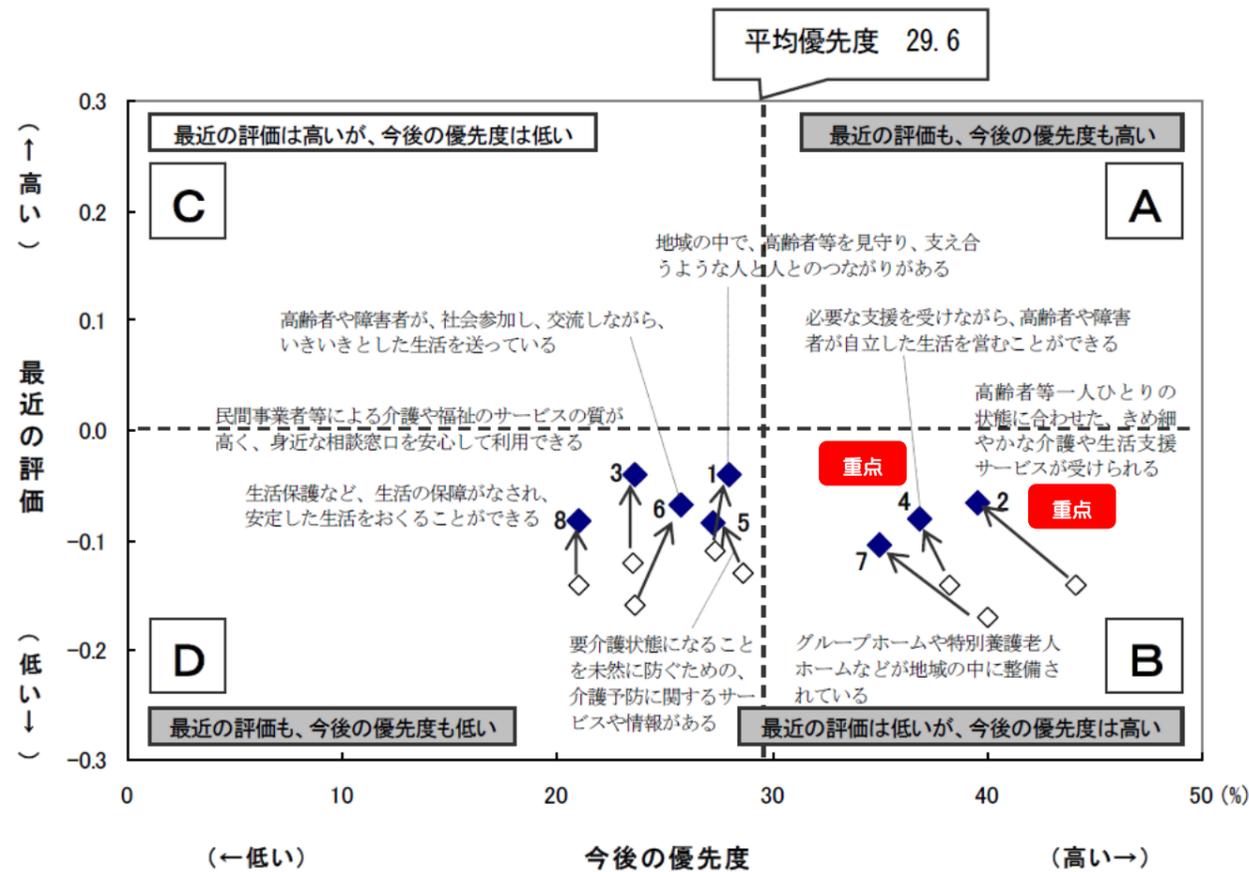
② 福祉

政策	施策 (網掛けが重点施策)	平成 25 (2013) 調査			平成 22 (2010) 調査			比較分析	平成 26 (2014) 調査			備考		
		設 問	評価	優先度	領域	評価	優先度		領域	評価	優先度		領域	
2-1	地域福祉の推進	政策全体の平均優先度等⇒			0.00	29.6		0.00	30.8		0.00	28.2		
	①福祉コミュニティの形成	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	-0.04	28.0	D	-0.11	27.3	D	ニーズと重点施策 がマッチしている	-0.13	27.6	D	
	②地域ケアシステムの構築	2	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる	-0.07	39.6	B	-0.14	44.1	B		-0.14	38.3	B	
	③保健福祉サービスの質の向上と権利擁護の推進	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、身近な相談窓口を安心して利用できる	-0.04	23.6	D	-0.12	23.5	D		-0.08	22.1	D	
2-2	地域での自立生活支援									ニーズと重点施策 が概ねマッチして いる				
	①高齢者・障害者への自立支援体制の強化	4	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる	-0.08	36.9	B	-0.14	38.2	B		-0.15	36.4	B	
	②介護予防の推進	5	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	-0.08	27.3	D	-0.16	23.6	D		-0.16	25.4	D	
	③社会参加の促進	6	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	-0.07	25.8	D	-0.13	28.6	D		-0.16	23.9	D	
	④施設サービス等の基盤整備	7	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている	-0.10	34.9	B	-0.17	40.0	B		-0.15	33.1	B	
	⑤生活困窮者等への自立支援の強化	8	生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる	-0.08	20.9	D	-0.14	21.0	D	-0.10	19.0	D		

区民意識調査における総合分析の経年比較

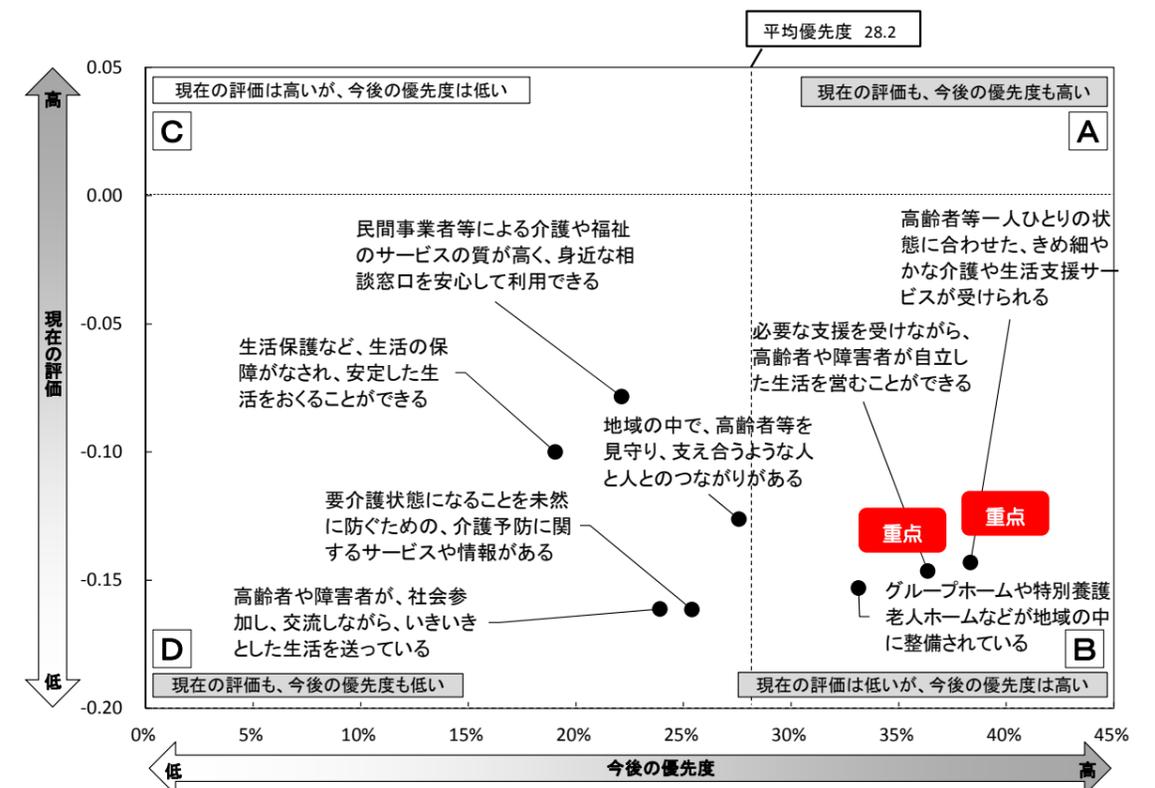
【平成 22 年度⇒25 年度調査】

領域間での大きな移動は見られない。



【平成 26 年度調査】

平成25年度調査結果と大きな相違は見られない。



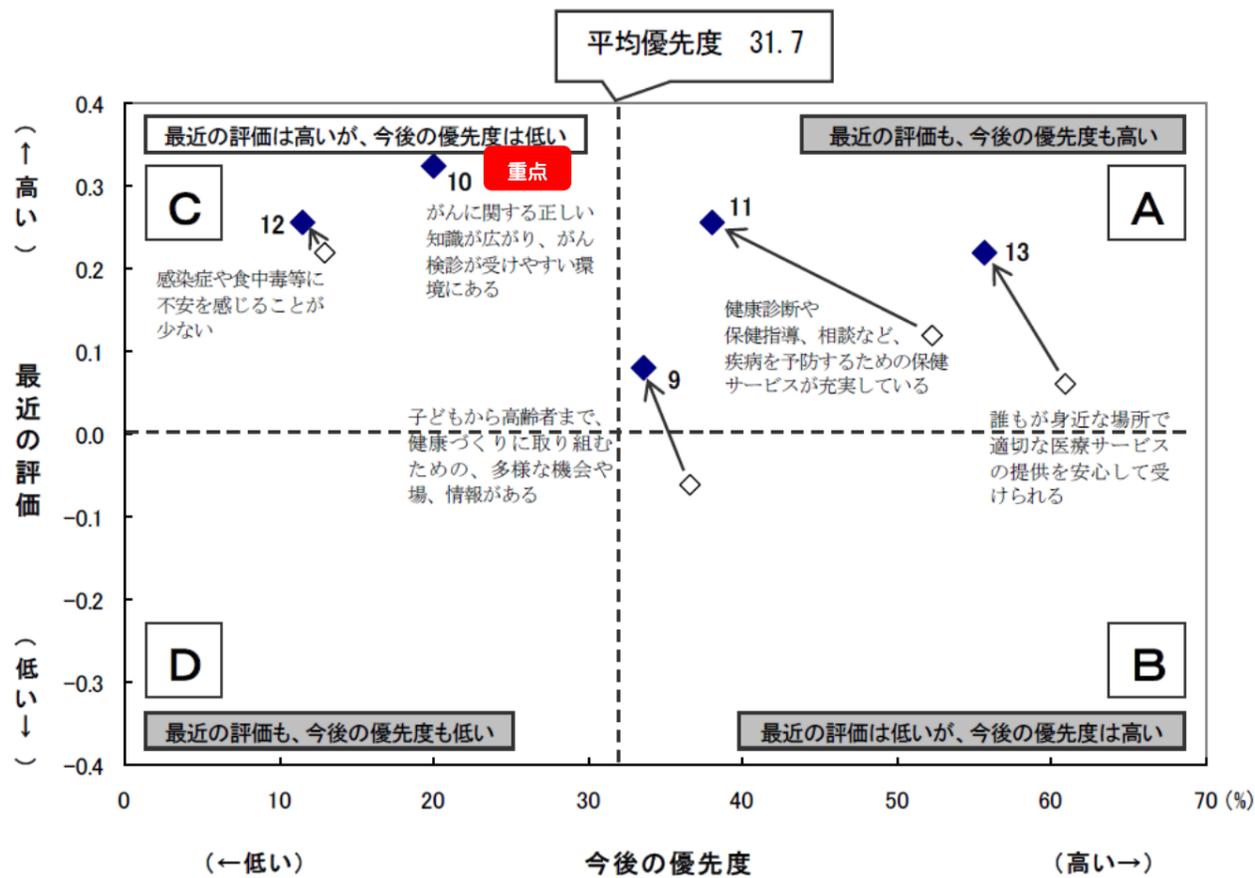
③ 健康

政策	施策 (網掛けが重点施策)	平成 25 (2013) 調査			平成 22 (2010) 調査			比較分析	平成 26 (2014) 調査			備考		
		設 問	評価	優先度	領域	評価	優先度		領域	評価	優先度		領域	
2-3	健康政策	全体の平均優先度等⇒			0.00	31.7			0.00	40.7				
	①健康づくりの推進	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	0.08	33.5	A	-0.06	36.6	D	ニーズと重点施策 にズレが見られる	-0.01	34.1	B	
	②がん対策の推進	10	がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある	0.33	20.0	C					0.26	18.5	C	
	③多様化する保健課題への対応	11	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している	0.26	38.0	A	0.12	52.3	A		0.22	34.2	A	
	④健康危機管理	12	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	0.26	11.4	C	0.22	12.9	C		0.18	12.5	C	
	⑤地域医療の充実	13	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	0.22	55.7	A	0.06	60.9	A		0.21	52.2	A	

区民意識調査における総合分析の経年比較

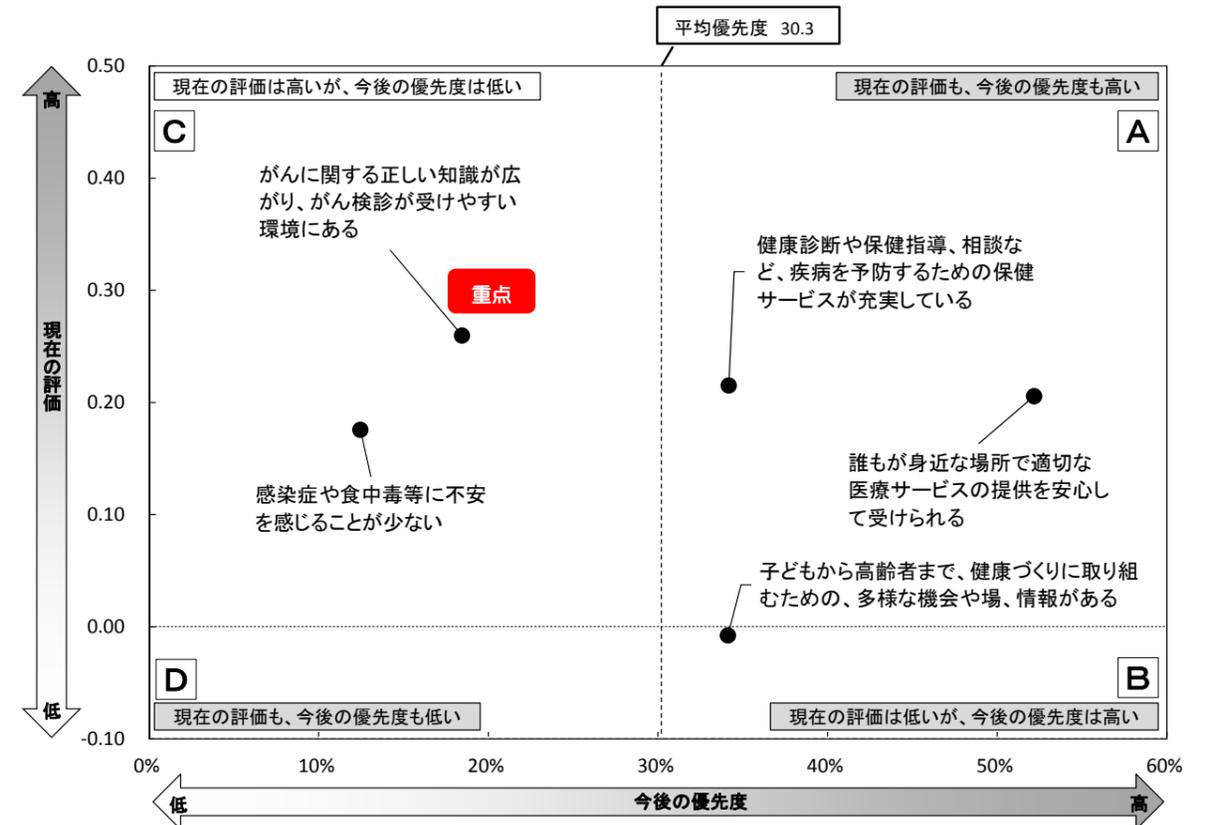
【平成 22 年度⇒25 年度調査】

No.9が領域Bから領域Aへ移動した。



【平成 26 年度調査】

平成25年度調査結果と大きな相違は見られない。



④ 子育て

政策	施策 (網掛けが重点施策)	平成 25 (2013) 調査			平成 22 (2010) 調査			比較分析	平成 26 (2014) 調査			備考				
		設 問	評価	優先度	領域	評価	優先度		領域	評価	優先度		領域			
3-1 子どもの権利保障		全体の平均優先度等⇒			0.00	24.1			0.00	25.0			0.00	22.0		
	①子どもの権利の確立	14	家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている	0.03	15.3	C	-0.05	13.4	D	ニーズと重点施策 がマッチしている	-0.04	16.6	D			
	②安全な生活の保障	15	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	-0.16	32.0	B	-0.21	26.2	B		-0.19	27.1	B			
	③遊びと交流の保障	16	子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる	-0.07	22.9	D	-0.09	21.2	D		-0.11	20.2	D			
3-2 子育て環境の充実																
	①総合相談体制の推進	17	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある	-0.06	21.3	D	-0.10	21.4	D	ニーズと重点施策 が概ねマッチして いる	-0.09	21.7	D			
	②子育て支援サービスの充実	18	家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる	-0.10	24.6	B	-0.08	39.6	B		-0.14	21.7	D			
	③サービス提供システムの整備	19	区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている	-0.13	28.7	B	-0.17	28.0	B		-0.15	24.5	B			

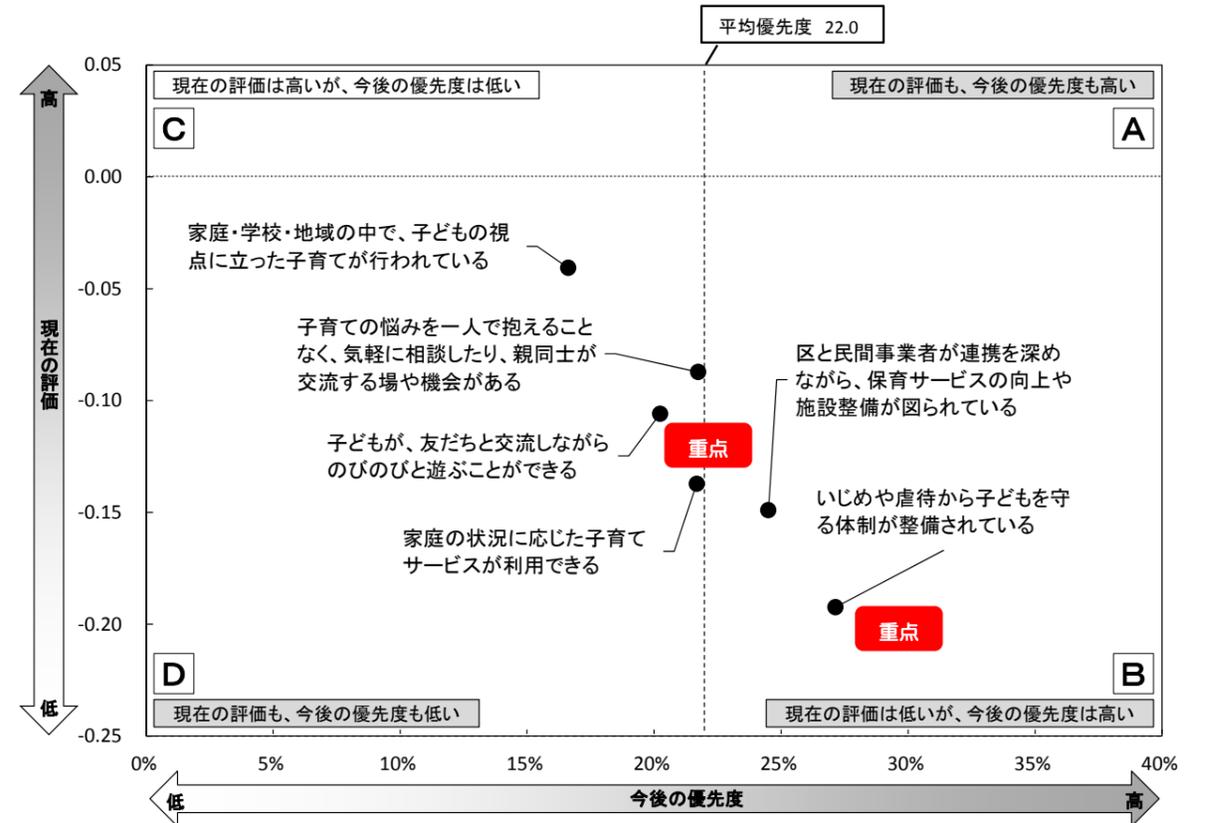
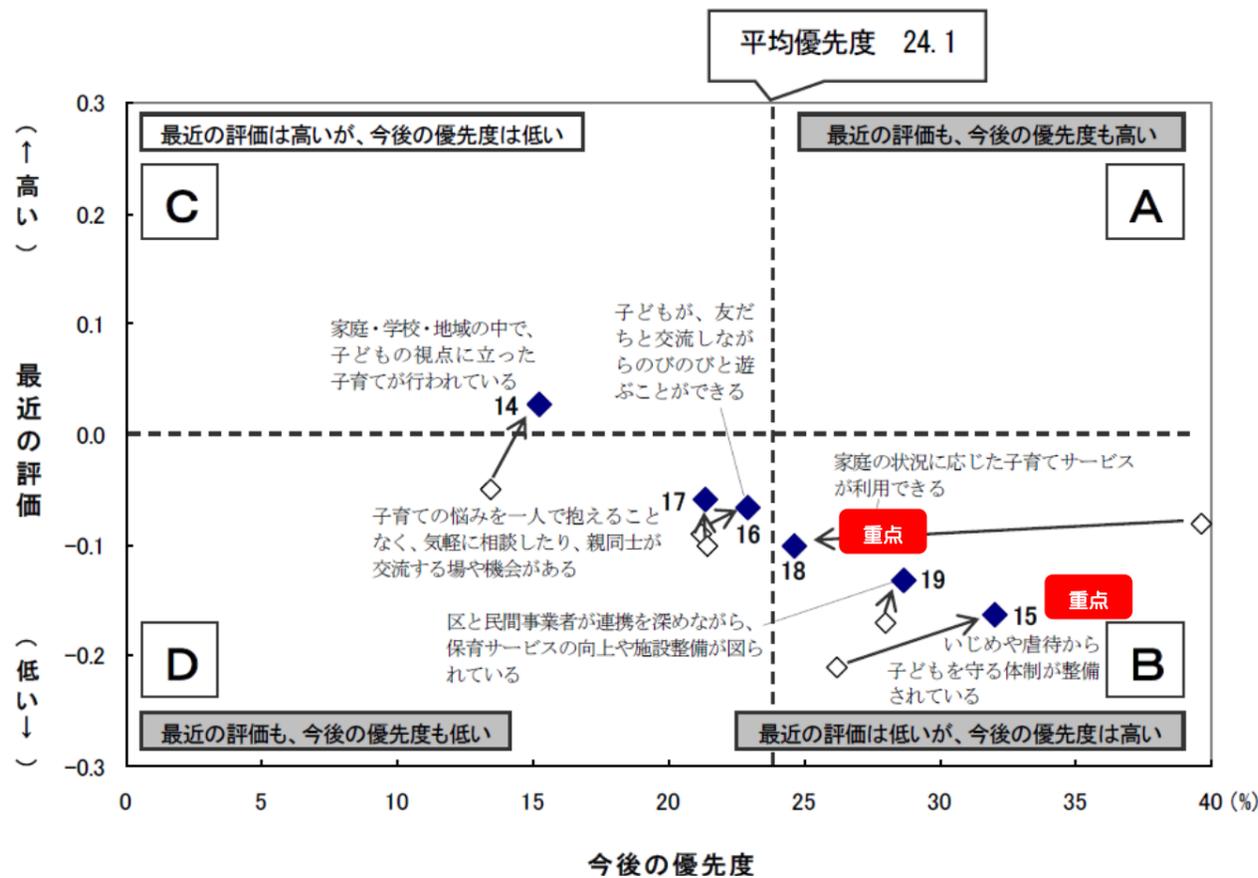
区民意識調査における総合分析の経年比較

【平成 22 年度⇒25 年度調査】

領域B内で、No.15とNo.18の優先度が大きく移動した。

【平成 26 年度調査】

平成25年度調査結果と大きな相違は見られない。



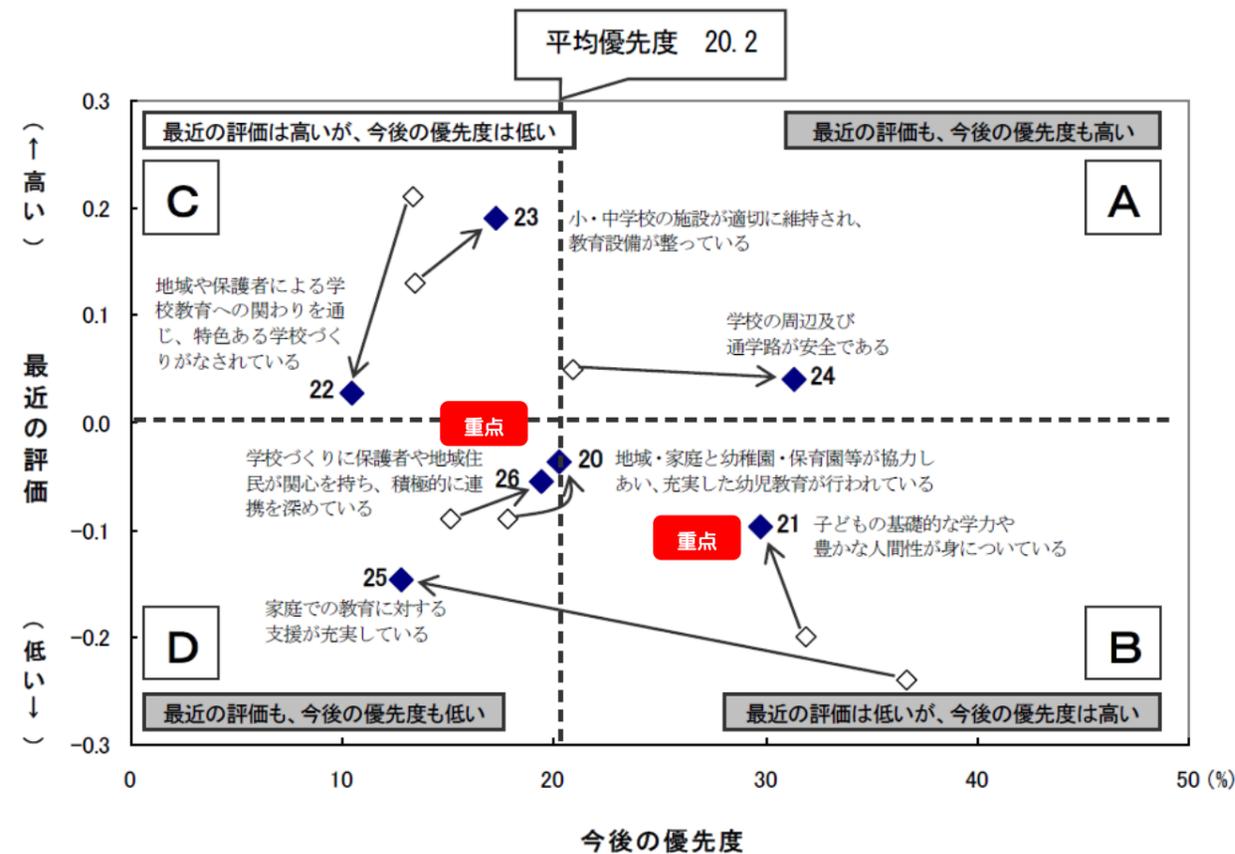
⑤ 教育

政策	施策 (網掛けが重点施策)	平成 25 (2013) 調査					平成 22 (2010) 調査			比較分析	平成 26 (2014) 調査			備考		
		設問	評価	優先度	領域	評価	優先度	領域	評価		優先度	領域				
4-3	男女共同参画社会の実現	全体の平均優先度等⇒					0.00	20.2		0.00	21.3		0.00	18.8		
	① 幼児教育の振興	20	地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている	-0.04	20.3	B	-0.09	17.8	D			-0.03	17.1	D		
3-4	学校における教育															
	① 「生きる力」を育む教育の推進	21	子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている	-0.10	29.8	B	-0.20	31.9	B	ニーズと重点施策 がマッチしている		-0.05	25.9	B		
	② 魅力ある学校づくり	22	地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている	0.03	10.4	C	-0.09	15.1	D			-0.02	10.1	D		
	③ 教育環境の整備	23	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	0.19	17.3	C	0.21	13.3	C			0.17	17.3	C		
	④ 安全・安心な学校づくり	24	学校の周辺及び通学路が安全である	0.04	31.3	A	0.05	20.9	C			-0.03	31.3	B		
3-5	地域における教育															
	① 家庭教育の支援	25	家庭での教育に対する支援が充実している	-0.15	12.7	D	ニーズに明確な差 が見られない				-0.17	11.9	D			
	② 学校、家庭及び地域の連携協力	26	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている	-0.06	19.4	D		-0.24	36.7	B		-0.05	18.1	D		

区民意識調査における総合分析の経年比較

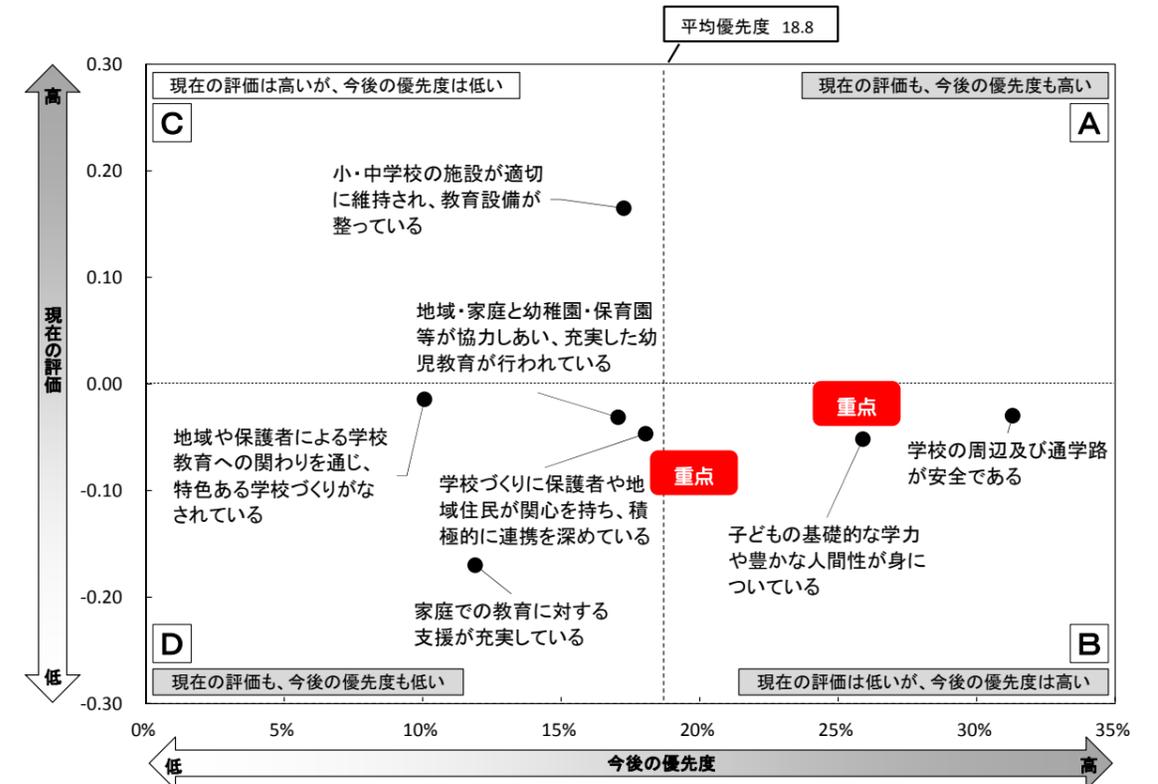
【平成 22 年度⇒25 年度調査】

No.25が領域Bから領域Dへ移動した。(22年度の設問は「家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている」)



【平成 26 年度調査】

平成25年度調査結果と大きな相違は見られない。



⑥ 環境

政策	施策 (網掛けが重点施策)	平成 25 (2013) 調査			平成 22 (2010) 調査			比較分析	平成 26 (2014) 調査			備考				
		設問	評価	優先度	領域	評価	優先度		領域	評価	優先度		領域			
5-1	みどりの創造と保全		全体の平均優先度等⇒			0.00	29.7			0.00	35.9			0.00	28.4	
	①みどりの拠点拡大	35	運動ができ、災害時にも有効な比較的大きな公園がある	-0.24	44.2	B	-0.23	47.0	B	ニーズと重点施策 がマッチしている	-0.32	45.8	B			
	②みどりのネットワーク	36	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	-0.02	31.6	B	0	35.6	D		-0.16	30.1	B			
5-2	環境の保全									ニーズと重点施 策に次第にズレ が見られる						
	①都市公害の防止	37	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	-0.13	32.4	B	-0.18	34.9	D		-0.20	29.7	B			
	②低炭素地域社会の実現	38	温室効果ガス削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	-0.36	16.8	D	-0.40	37.9	B		-0.38	14.3	D			
	③環境まちづくり	39	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	-0.41	33.2	B					-0.45	28.2	D			
	④地域美化の推進	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	-0.04	34.0	B	-0.11	38.5	B		-0.19	36.3	B			
5-3	リサイクル・清掃事業の推進									ニーズに明確な差 が見られない						
	①3Rの推進	41	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	0.18	25.3	C	0.20	32.0	C		0.07	22.4	C			
	②資源循環型清掃事業の推進	42	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	0.46	19.9	C	0.44	25.6	C		0.40	20.1	C			

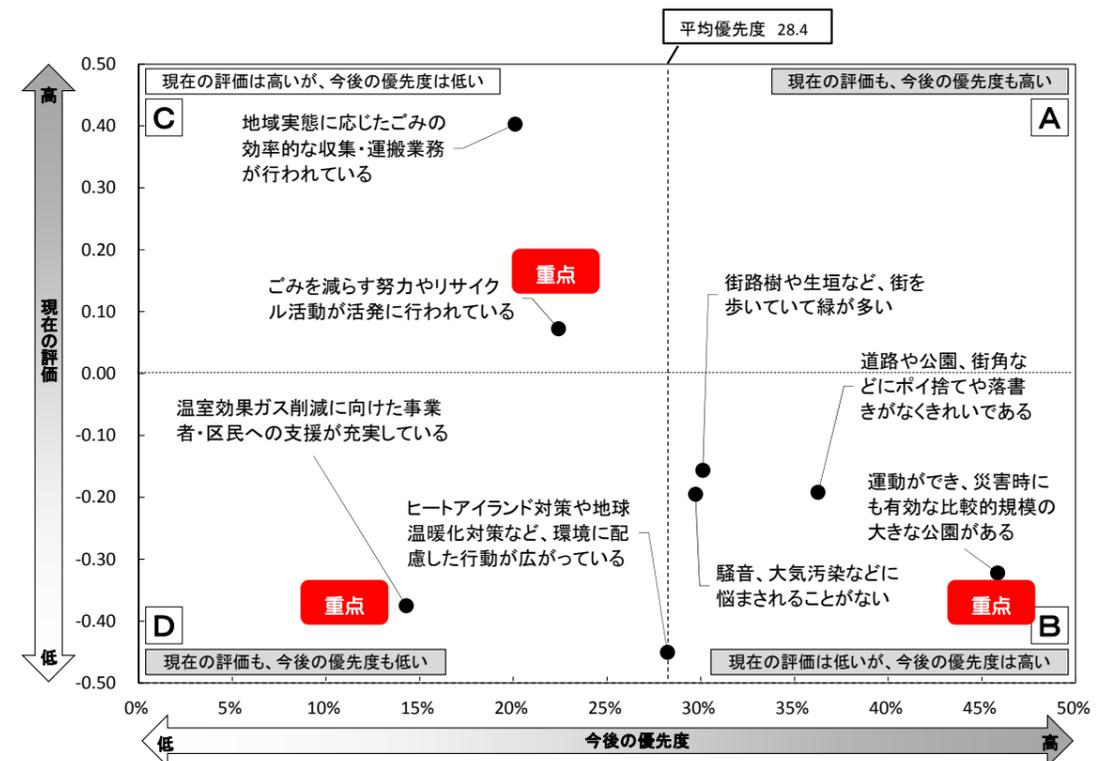
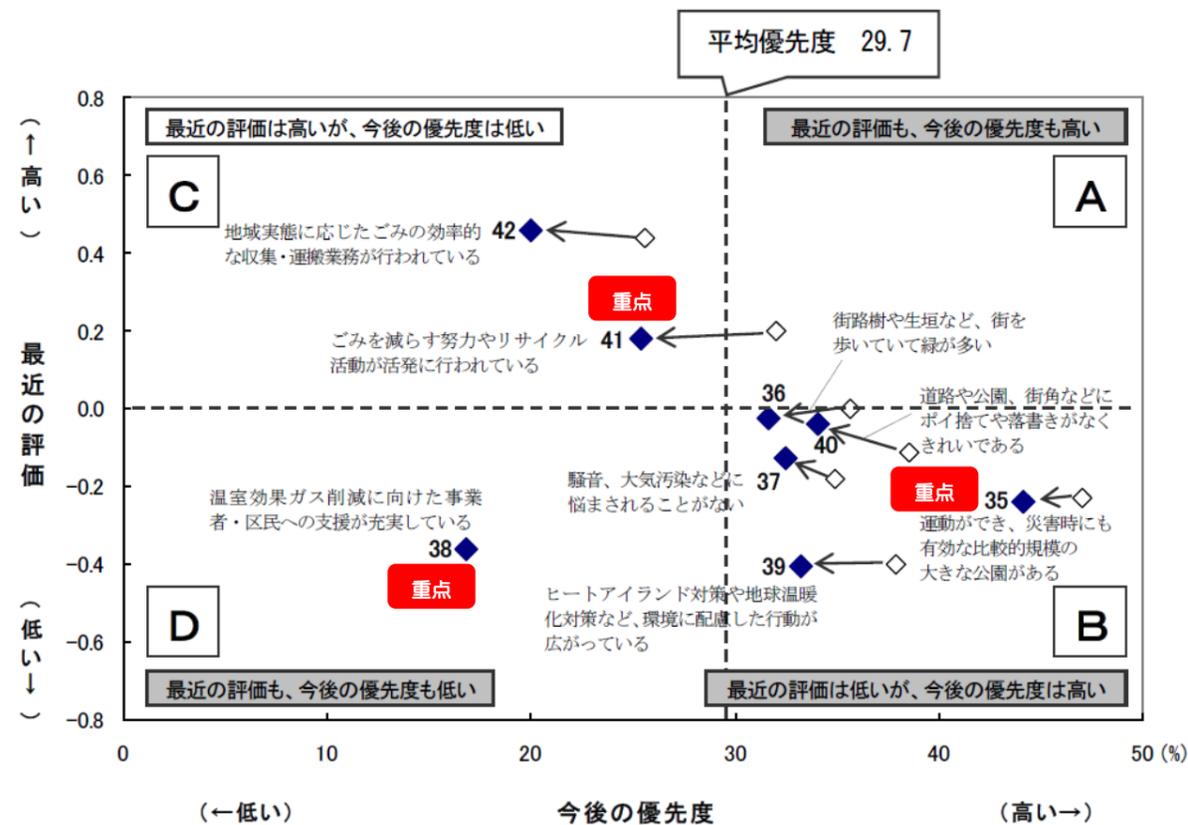
区民意識調査における総合分析の経年比較

【平成 22 年度⇒25 年度調査】

No.41が、領域Aから領域Cへ移動した。

【平成 26 年度調査】

平成25年度調査結果と大きな相違は見られない。



⑦ 都市再生

政策	施策 (網掛けが重点施策)	平成 25 (2013) 調査			平成 22 (2010) 調査			比較分析	平成 26 (2014) 調査			備考	
		設 問	評価	優先度	領域	評価	優先度		領域	評価	優先度		領域
6-1	魅力あるまちづくりの推進	全体の平均優先度等⇒			0.00	23.6		0.00	24.9		0.00	22.0	
	①秩序ある市街地更新	43	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	-0.07	31.1	B	-0.08	29.5	B	ニーズと重点施策 が概ねマッチして いる	-0.08	28.5	B
	②個性ある快適なまちづくり	44	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる	0.04	16.4	C	-0.02	17.2	D		0.02	15.7	C
	③池袋副都心の再生	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	-0.15	25.2	B	0.13	27.2	A		-0.09	27.5	B
	④新庁舎整備と現庁舎活用による新たなまちづくり	46	新庁舎整備をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	0.08	15.3	C					0.18	14.7	C
	④活力ある地域拠点の整備	47	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	0.21	26.3	A	0.32	27.7	A		0.25	20.9	C
6-2	魅力ある都心居住の場づくり												
	①安心な住まいづくり	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	-0.27	29.4	B	-0.28	21.8	D	ニーズと重点施策 がマッチしている	-0.30	30.2	B
	②良質な住宅ストックの形成	49	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	-0.24	19.5	D	-0.25	20.4	D		-0.29	20.5	D
6-3	交通体系の整備												
	①道路・橋梁の整備と維持保全	50	身近な生活道路が快適に通行できる	0.05	31.6	A	0.03	30.7	A	ニーズと重点施 策に次第にズレ が見られる	-0.02	26.5	B
	②自転車・自動車対策の推進	51	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている	0.21	25.6	A	-0.02	35.1	B		0.17	23.5	A
	③公共交通の整備	52	鉄道・バス等の交通が便利である	0.71	16.0	C	0.75	12.4	C		0.81	11.9	C

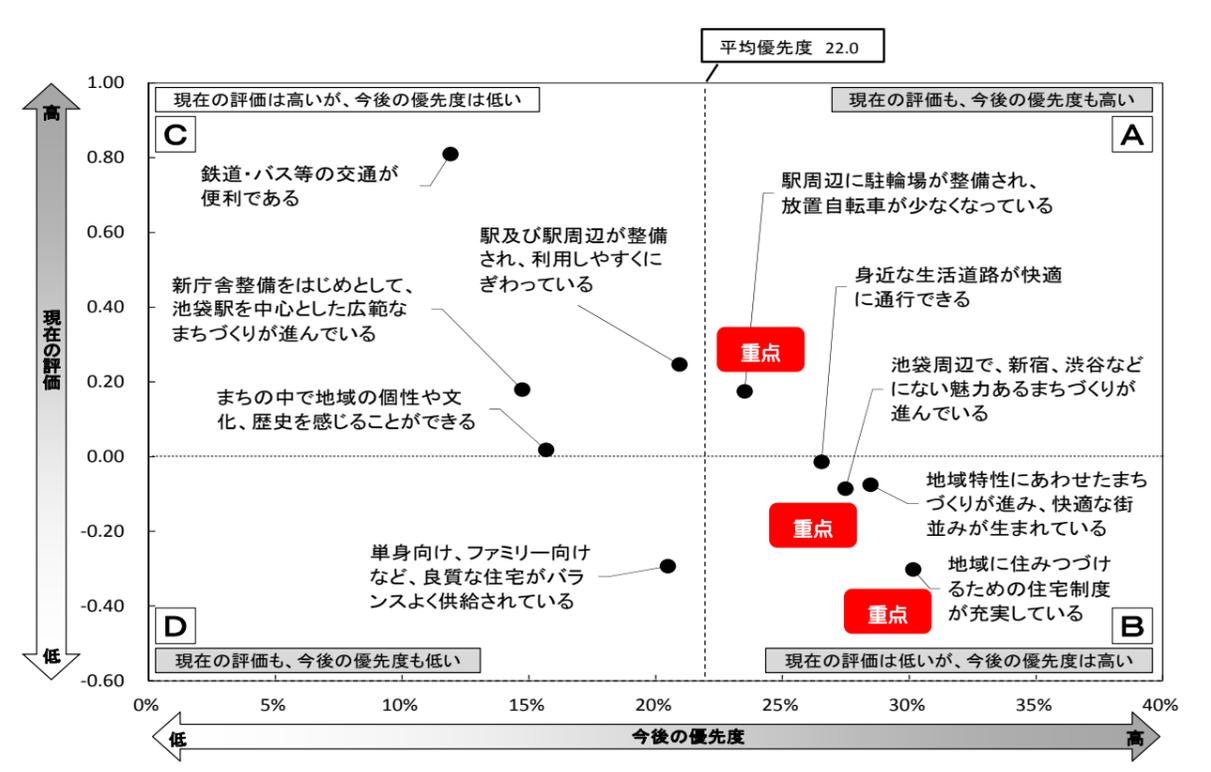
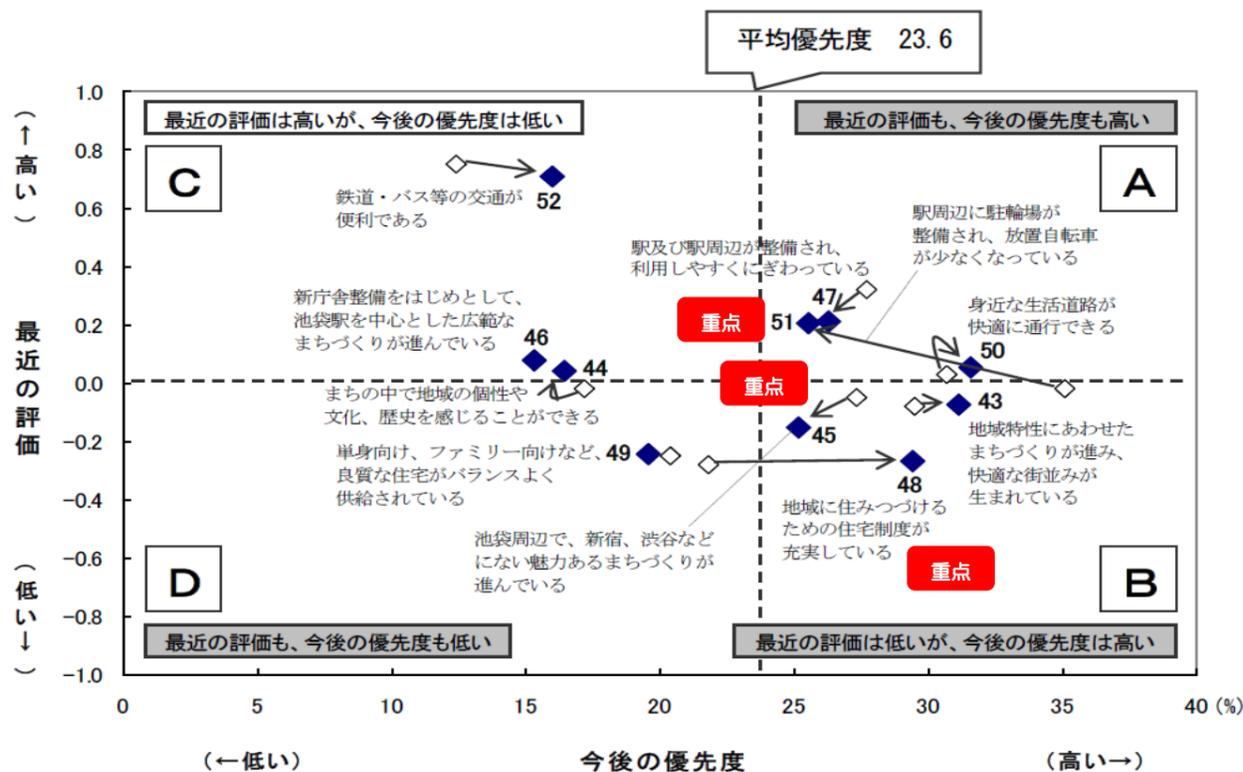
区民意識調査における総合分析の経年比較

【平成 22 年度⇒25 年度調査】

No.48が領域Dから領域Bへ移動した。No.51の優先度が低くなる方向へ大きく移動した。

【平成 26 年度調査】

平成25年度調査結果と大きな相違は見られない。



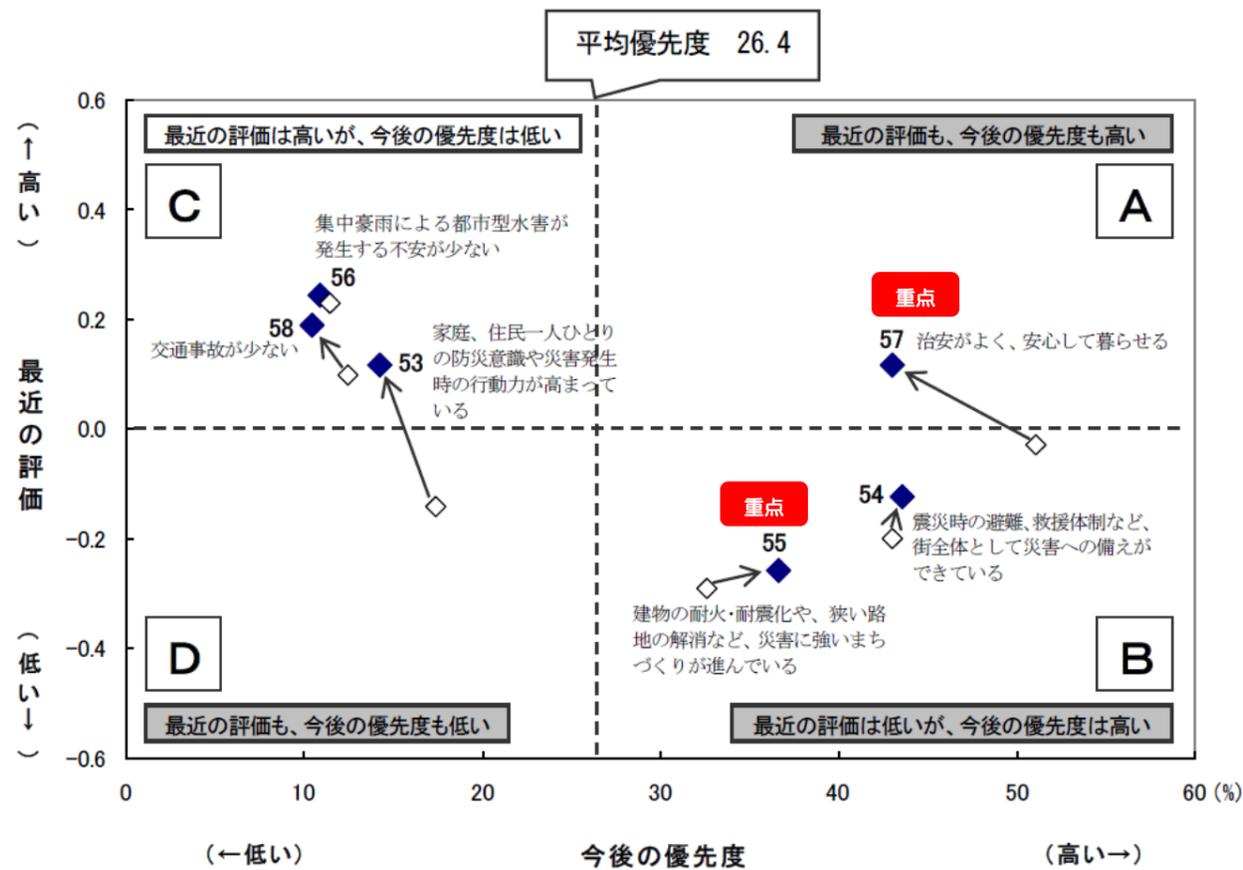
⑧ 安全・安心

政策	施策 (網掛けが重点施策)	平成 25 (2013) 調査			平成 22 (2010) 調査			比較分析	平成 26 (2014) 調査			備考				
		設 問	評価	優先度	領域	評価	優先度		領域	評価	優先度		領域			
6-4	災害に強いまちづくりの推進	全体の平均優先度等⇒			0.00	26.4			0.00	28.0			0.00	25.2		
	①防災行動力の向上と連携	53	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	0.12	14.2	C		-0.14	17.3	D	ニーズと重点施策 が概ねマッチして いる	-0.09	14.3	D		
	②応急・復興活動を円滑に行う体制の整備	54	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています	-0.13	43.6	B		-0.20	43.0	B		-0.21	40.2	B		
	③災害に強い都市空間の形成	55	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	-0.26	36.6	B		-0.29	32.6	B		-0.29	34.3	B		
	④総合治水対策の推進	56	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	0.24	10.9	C		0.23	11.4	C		0.17	13.0	C		
6-5	安全・安心の確保															
	①治安対策	57	治安がよく、安心して暮らせる	0.12	43.0	A		-0.03	51.0	B	ニーズと重点施策 が概ねマッチして いる (優先度は高位)	-0.09	38.4	B		
	②交通安全対策	58	交通事故が少ない	0.19	10.4	C		0.10	12.4	C		-0.00	11.0	D		

区民意識調査における総合分析の経年比較

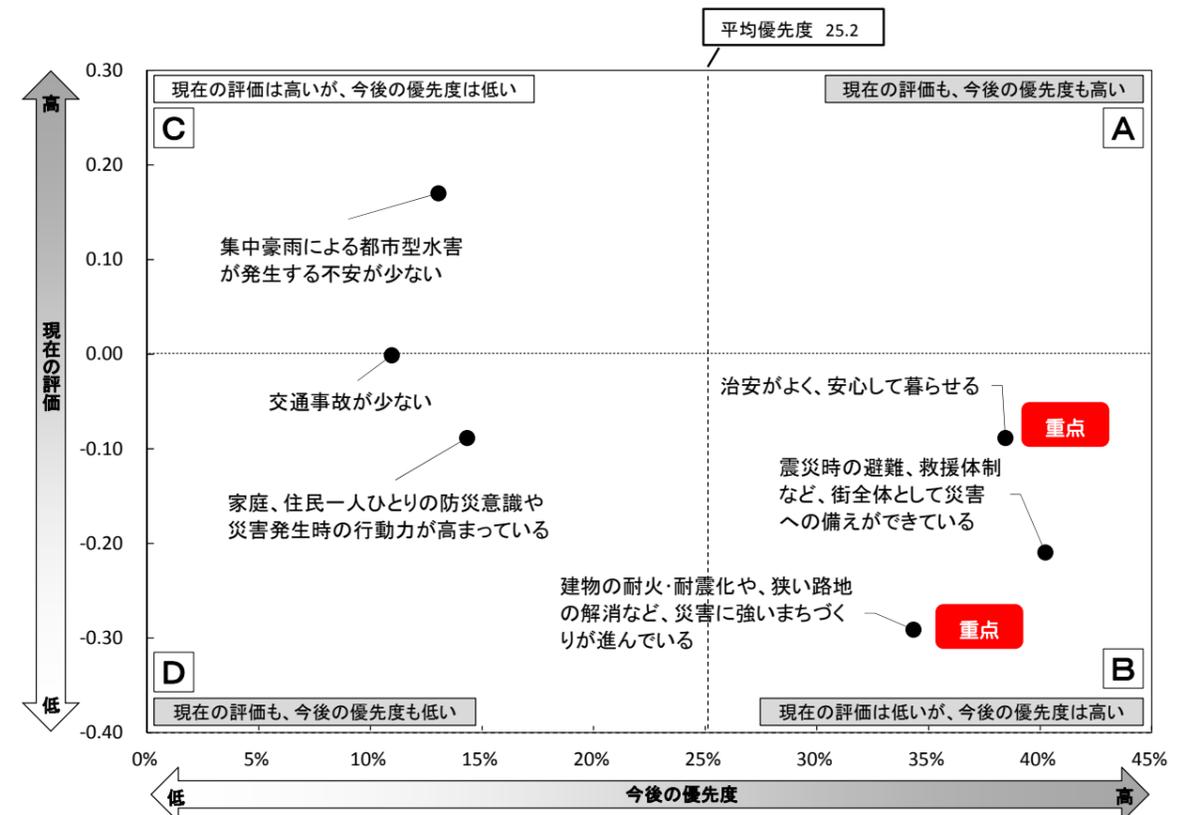
【平成 22 年度⇒25 年度調査】

No.57とNo.53の最近の評価が高くなり、領域を移動した。



【平成 26 年度調査】

平成25年度調査結果と大きな相違は見られないが、「現在の評価」は全体的に低位となっている。



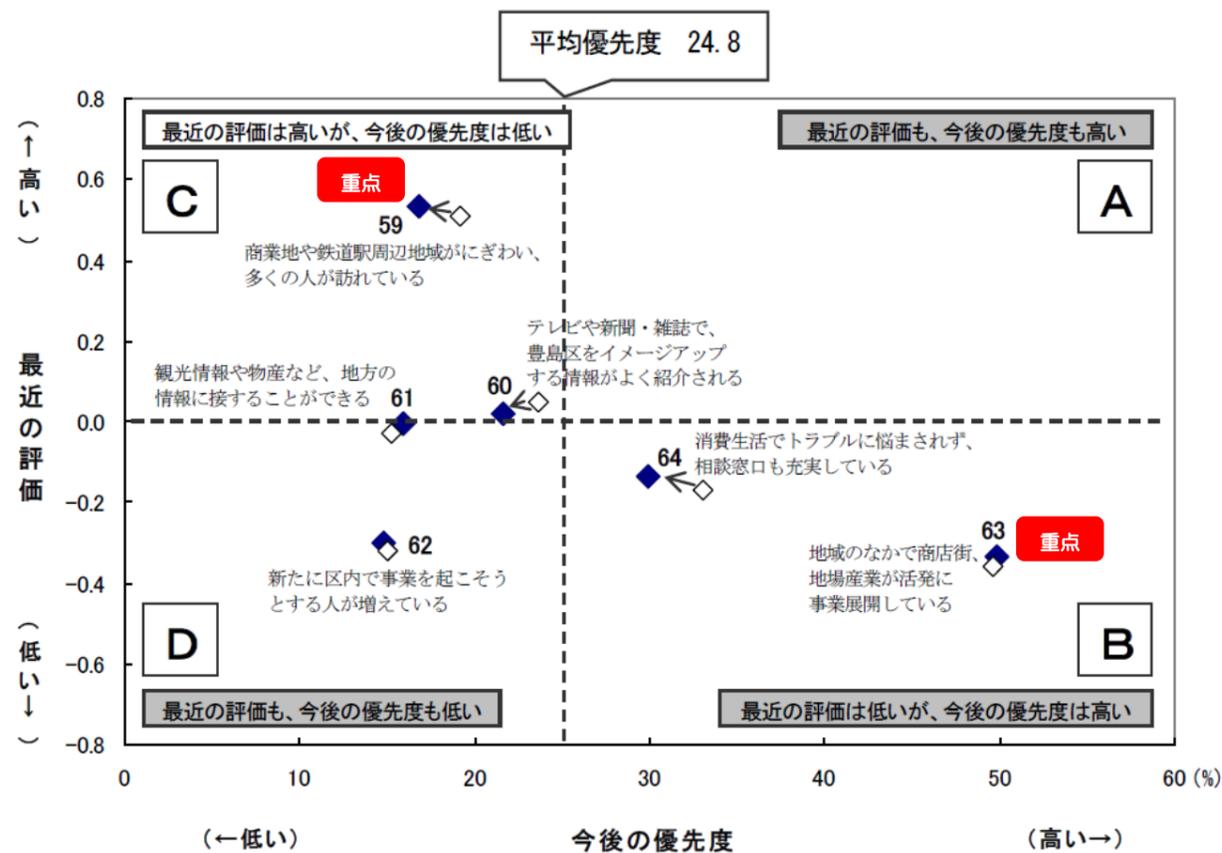
⑨ 観光・産業

政策	施策 (網掛けが重点施策)	平成 25 (2015) 調査			平成 22 (2012) 調査			比較分析	平成 26 (2014) 調査			備考		
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域		評価	優先度	領域			
7-1	都市の魅力による集客力の向上	全体の平均優先度等⇒			0.00	24.8		0.00	25.9		0.00	23.4		
	①にぎわい魅力商工都市の形成	59	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人が訪れている		0.53	16.8	C	0.51	19.1	C	ニーズに明確な差が見られない	0.69	18.0	C
	②観光まちづくりの推進	60	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される		0.02	21.6	C	0.05	23.6	C		0.06	25.0	A
	③都市交流の推進	61	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる		-0.00	15.9	D	-0.03	15.2	D		-0.02	16.9	D
7-2	産業振興による都市活力創出													
	①新たなビジネス展開の支援	62	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている		-0.30	14.7	D	-0.32	15.0	D	ニーズと重点施策がマッチしている	-0.26	15.2	D
	②地域産業の活性化	63	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している		-0.34	49.9	B	-0.36	49.6	B		-0.30	39.7	B
	③消費者権利の実現支援	64	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している		-0.14	29.9	B	-0.17	33.0	B		-0.15	25.9	B

区民意識調査における総合分析の経年比較

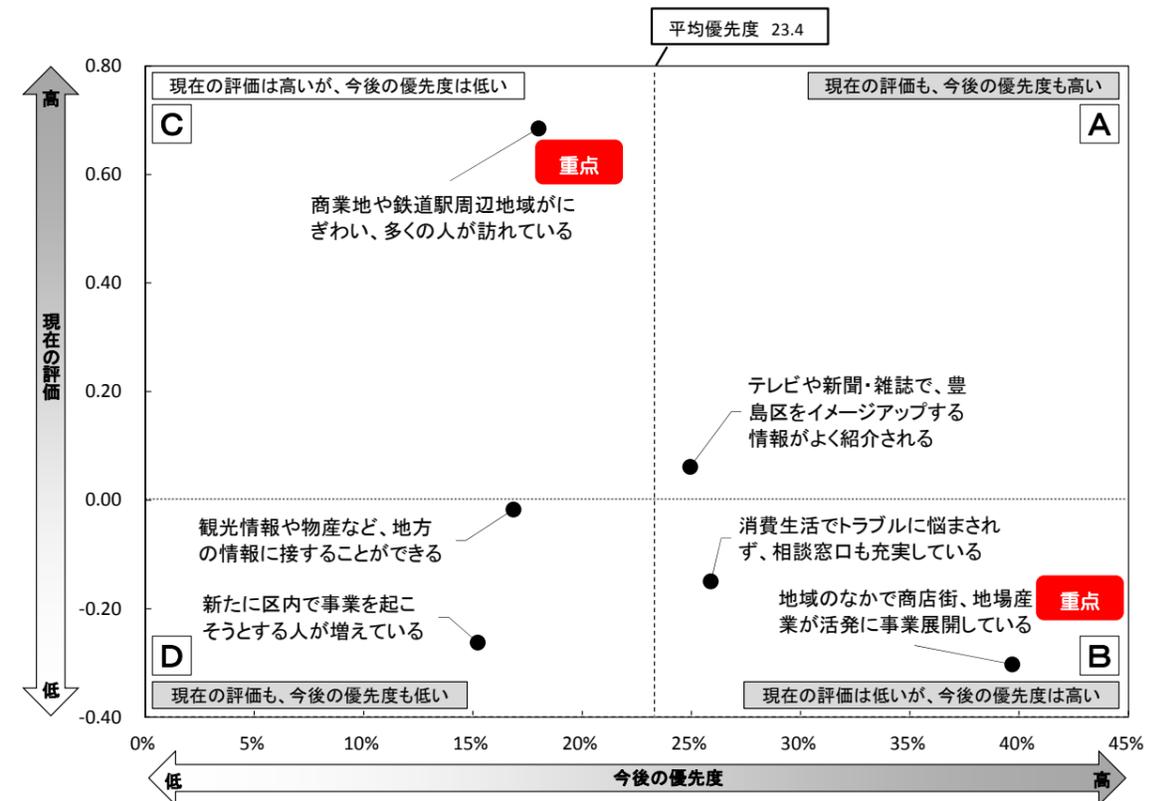
【平成 22 年度⇒25 年度調査】

領域間での大きな移動は見られない。



【平成 26 年度調査】

平成25年度調査結果と大きな相違は見られない。



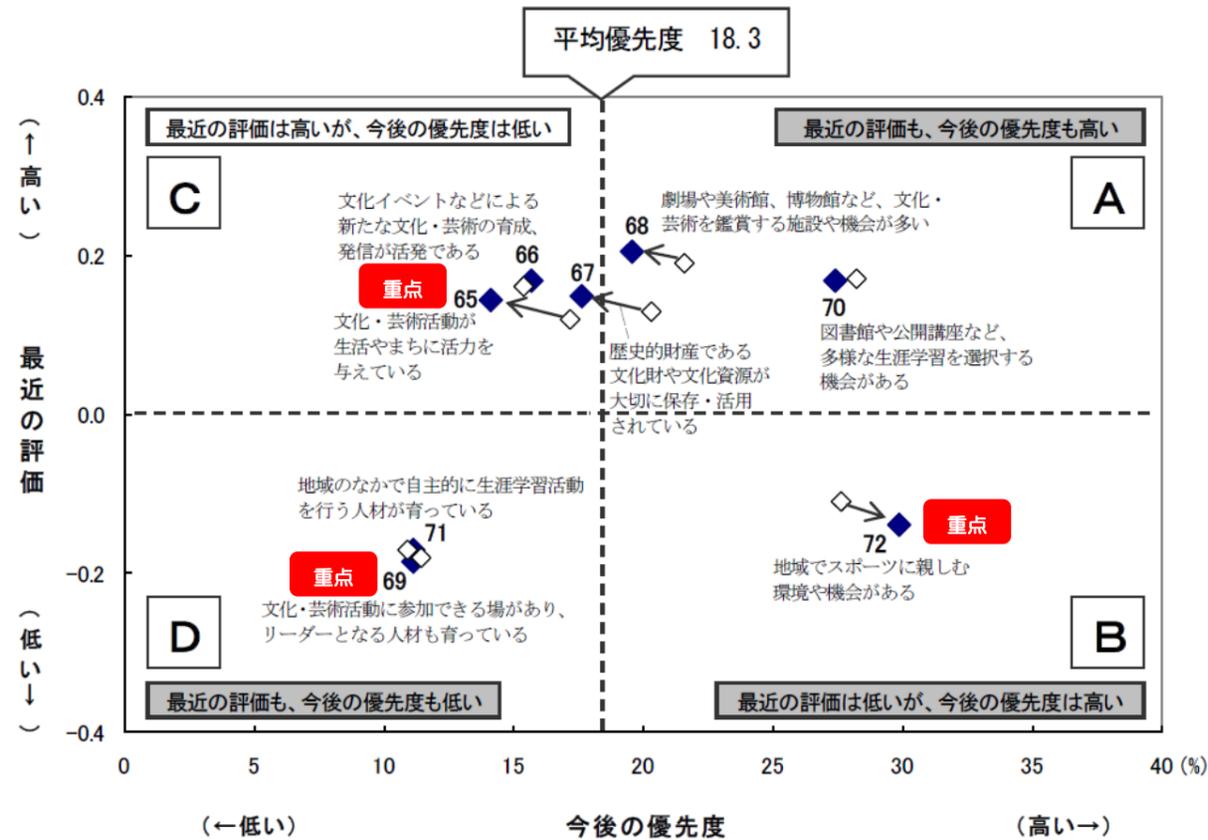
⑩ 文化

政策	施策 (網掛けが重点施策)	平成 25 (2013) 調査			平成 22 (2010) 調査			比較分析	平成 26 (2014) 調査			備考		
		評価	優先度	領域	評価	優先度	領域		評価	優先度	領域			
8-1	文化によるまちづくりの推進	全体の平均優先度等⇒			0.00	18.3		0.00	19.1		0.00	17.5		
	①文化によるまちの活性化	65	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている		0.14	14.1	C	0.12	17.2	C	ニーズに明確な差が見られない	0.19	16.7	C
	②新たな文化芸術の創出と創造環境の整備	66	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である		0.17	15.7	C	0.16	15.4	C		0.20	13.9	C
	③地域文化・伝統文化の継承と発展	67	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている		0.15	17.6	C	0.13	21.6	A		0.13	16.8	C
8-2	文化芸術の振興													
	①芸術・文化鑑賞機会の充実	68	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い		0.21	19.6	A	0.19	11.4	A	ニーズに明確な差が見られない	0.23	20.7	A
	②文化を支え、発展させる人材の育成	69	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている		-0.18	11.1	D	-0.18	28.2	D		-0.20	10.9	D
8-3	生涯学習・障害スポーツの推進													
	①生涯学習の環境整備	70	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある		0.17	27.4	A	0.17	10.9	A	ニーズと重点施策がマッチしている	0.09	24.0	A
	②個の学びから社会的な学習活動への転換	71	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている		-0.17	11.2	D	-0.17	27.2	D		-0.20	11.4	D
	③スポーツ・レクリエーション活動の充実	72	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある		-0.14	29.9	B	-0.11	22.2	B		-0.12	25.5	B

区民意識調査における総合分析の経年比較

【平成 22 年度⇒25 年度調査】

領域間での大きな移動はみられない。



【平成 26 年度調査】

平成25年度調査結果と大きな相違は見られない。

